

実習科目4-2

小動物外科学実習モデル・コア・カリキュラム

全体目標

動物に対する外科的治療法を実施する上で必要な診断法および治療法に関する基本的手技を、生体、模型あるいは画像教材などで身につける。

(1) 外科的疾患

一般目標：

外科疾患における診断法ならびに治療法としての外科処置の適応を判断する。

到達目標：

- 1) 外科的処置の適応を判断し、リスク評価ができる。

- 4) 器具および施設の基本的滅菌、殺菌および消毒法を理解し、適用できる。

- 5) 手術時の手洗い法および手術用手袋の装着を正確に実施できる。

- 6) 切開、止血、結紮、縫合などの基本的手術技術を実施できる。

- 7) 周術期管理法（手術創保護、創傷管理など）を理解し、適用できる。

(2) 基本的外科手技

一般目標：

基本的な外科手技を実施する。

到達目標：

- 1) 静脈採血の手順、部位と合併症を理解し、正しく採血できる。
- 2) 末梢静脈の血管確保を実施できる。
- 3) 尿道カテーテル設置ができる。
- 4) ドレーンの挿入と抜去を実施できる。

(4) 外科的処置に関連した麻酔法

一般目標：

全身麻酔と局所麻酔の基本的適用法を修得する。

到達目標：

- 1) 麻酔薬、麻酔前投薬の種類と使用法を理解し実施できる。
- 2) 吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、事故と合併症を理解し実施できる。
- 3) 気管（内）挿管・抜管を実施できる。
- 4) 局所麻酔、神経ブロック、硬膜外麻酔の適応、禁忌と合併症を理解し実施できる。

(3) 手術手技の基本的適用法

一般目標：

手術に関連する基本的手技の目的、方法、適用、禁忌と合併症について修得する。

到達目標：

- 1) 手術に関する情報を適切に記録できる。
- 2) 一般的な手術器具を適切に使用できる。
- 3) 手術室内の設備について説明できる。

(5) 周術期管理

一般目標：

術前術後の生体のモニター方法と、基本的管理法について修得する。

到達目標：

- 1) 基本的バイタルサインの意義とモニター方法を理解し実施できる。

2) 周術期管理における輸液・輸血の基本を理解し実施できる。

2) 呼吸器疾患および胸腔疾患に対する手術手技を説明できる。

(6) 救急処置法

一般目標：

緊急に対応すべき疾患の病態、診断法、治療法を理解し、模擬症例で実施する。

到達目標：

1) 救急病態の救命治療の基本的な手技を実施できる。

(7) 外皮の手術

一般目標：

皮膚、爪などの外皮の構造と機能を理解し、その処置法を学ぶ。

到達目標：

- 1) 皮膚にみられる一般的な腫瘍の種類とその手術法について説明できる。
- 2) 皮膚切開法および縫合法を実施できる。

(8) 消化器の手術

一般目標：

消化器病とその基本的な手術手技について修得する。

到達目標：

- 1) 腹腔内臓器へのアプローチ法を説明できる。
- 2) 基本的な消化管切開法、縫合法および吻合法を説明できる。
- 3) 口腔、胃、腸疾患に対する手術手技を説明できる。

(9) 呼吸器と胸腔の手術

一般目標：

呼吸器および胸部疾患とその基本的な手術手技について修得する。

到達目標：

- 1) 呼吸器へのアプローチ法を説明できる。

(10) 神経系の手術

一般目標：

神経学的検査法と脊髄疾患の手術手技および末梢神経系の治療法について修得する。

到達目標：

- 1) 頭部および脊髄へのアプローチ法を説明できる。
- 2) 脊髄疾患に対する手術手技を説明できる。

(11) 泌尿生殖器の手術

一般目標：

各種動物の特徴的な泌尿生殖器病とその基本的な手術手技について修得する。

到達目標：

- 1) 泌尿器へのアプローチ法を説明できる。
- 2) 泌尿器疾患に対する手術手技を説明できる。
- 3) 産科および生殖器疾患に対する手術手技を説明できる。

(12) 骨筋系の手術

一般目標：

各種動物の特徴的な骨・関節・筋・腱の疾患とその基本的な手術手技について修得する。

到達目標：

- 1) 骨疾患および骨折に対する手術手技を説明できる。
- 2) 脱臼・亜脱臼に対する整復手技を説明できる。
- 3) 関節疾患に対する手術手技を説明できる。

(13) 体壁の手術

一般目標：

腹壁、臍、鼠径部、会陰のヘルニアなどの疾病と、その基本的な手術手技について修得する。

到達目標：

- 1) 腹壁および臍疾患に対する手術手技を説明できる。
- 2) 鼠径部および会陰部の手術手技を説明できる。